

# 木工製作

## Woodwork Production

山梨県立甲府工業高等学校 土木科

飯野英心 窪田流星 小島彪雅 小松駿斗 三枝蓮 鳶津愛斗 田辺諒也

### 概要や目的など

木工では、計画、作図、計測、組み立てまで自分たちで考え、試行錯誤しながら行っていきます。目的としては、危険な道具を安全に使い慣れる。学校のためになるものを作る。そして何より、チームワークです。木材を切るにしても組み立てるにしても1人ではできません。それは現場にでも同じです。この木工という課題研究を通じてものづくりとしての大切な、計画・安全作業・チームワークを楽しみながら学べるというのが最大の魅力です。

### 1. はじめに

今回の木工という課題研究は、普段私たちが当たり前に使っている家具や、道具などを作ることをメインに活動しています。今回、私たちが作ったものは机、椅子、本棚、家、求人票入れです。私たちは当たり前のように使っていますが、実際に作ってみると、設計から組み立て、色塗りまですべて自分の手でやるとなると予想以上にきつく大変な作業でした。汗水たらして作ってきたのでぜひご覧ください。

### 2. 研究内容

CADによる図面設計から製作までを行い、4つの作品を完成させた。  
1作品目の家は去年の木工班の人が大きなベツトを作っていてそれよりももっと大きなものを作りたいと思い作成しました。  
2作品目の椅子と机は実用的なものを作りたいと思い作成しました。  
3. 4作品目の本棚と求人票ボックスは土木科職員室前のスペースを広く有効活用できないか考え、見栄えが良くなるように考え作品を製作した。

### 3. 取組状況

夏休み前から取り組み始め、まず何を作るか決めるところから入りました。そこで、机と椅子と家を作ることになり、すぐに組み立てに取り掛かれると思っていましたが、設計に思ったより時間がかかり設計が大体になってしまいました。やっと組み立てに入ったが、各班での差が出てしまいました。難しい箇所もあったが、全員で協力して完成することができました。また、別に本棚を作ったりして学校のためになるものを作ることができました。



### 4. 成果

今回の木工という課題研究を通していろいろ大切なことを学びました。もの作るため計画を立てたり、組み立てたり、自分たちの力で1からやるという難しさ、ネジ打ちや電動器具を使う大変さを実感し。それと同時に、全員で1つのものを作り上げる楽しさや、完成した後の達成感を感じることができました。また、作るのは大変でしたが自分たちが、学校のため、これからの土木科の後輩のために、本棚、机、椅子、家などを作り上げることができ、とてもいい課題研究になりました。



### 5. 考察

今回の課題研究を通して、ものを作る難しさや大変さを知ると同時に、全員で行うという楽しさや達成感も知ることができました。木工ではインパクトドライバーを使うのはもちろん電動器具など危険な器具も使います。そのため声掛け、周りの配慮など連携を大切に行いました。また寸法のズレや打つところ、切断するところの間違いなど、ちょっとしたことで大きなミスにつながります。そのため、ひとつひとつの事を丁寧にやっていきました。木材の曲がり具合、しなり具合などを気にしながら作業すればもっといいものを作り上げることができたかなと思いました。

### 6. おわりに

今回の課題研究を行うためには、木材やペンキなどたくさんの材料が必要でした。その材料を準備してくれた、大澤先生、前田先生をはじめ学校関係者の方々に深くお礼申し上げます。もうないと思いますが、もしまた木工をするようなことがあったら、今回の経験をいかして材料準備から完成まで全てやりたいなと思います。